

公益財団法人 8020 推進財団

令和4年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

地域歯科保健サポート事業【人材バンクとネットワーク形成】

2. 申請者名：

特定非営利活動法人 は一もに一プロジェクト

3. 実施組織：

特定非営利活動法人 は一もに一プロジェクト

4. 事業の概要：

今後、歯科医師会や歯科衛生士会にも少子高齢化が大きく影響し、地域歯科保健活動が縮小化されることが懸念される。今回各小中学校に学校歯科医の他に地域教育コーディネーターが配置されていることに注目し、同コーディネーターとネットワークを形成し、歯科保健活動に参加していただくことを考えた。今年度は新潟県弥彦村立弥彦小学校を対象に地域教育コーディネーターとの連携を構築し、地域ボランティアを確保した。研修会等を開催し、理解を深めてもらった。また、近隣市町村行政、教育委員会を訪問し、連携の可能性について意見交換を行った。次年度具体的な事業に参加していただくとともに他市町村の地域教育コーディネーターとも連携を構築し普及していくことを考えている。

5. 事業の内容：

今後、歯科医師会や歯科衛生士会にも少子高齢化が大きく影響し、地域歯科保健活動が縮小化されることが懸念される。しかし歯科保健は行政施策によるポピュレーションアプローチのみで対応できないことを考えると地域歯科保健活動のある一定レベルで維持させる必要がある。そのためにも支援していただける人材を確保しておく必要がある。また、小学校や中学校は地域における情報発信の中心となっており、歯科保健においても重要な役割を担っている。現在新潟県では各小中学校に学校歯科医の他に地域教育コーディネーターが配置されていることからネットワークを構築することで新たな地域歯科保健活動が可能になる。

まず、学校歯科保健支援サポーターバンクの構築として、新潟県弥彦村立弥彦小学校を対象に事業を実施した。弥彦村教育委員会地域学校協働本部に所属している地域教育コーディネーターに事業協力を仰ぎ了解していただいた。その後同本部に登録している地域ボランティア 80 名に事業の趣旨を説明し協力を依頼した。その結果約 10 名のボランティアが歯科保健活動への協力の意志を示した。

次に、保健に関連する学校を中心としたネットワーク形成を実施した。ネットワークの中心に地域教育コーディネーターを考えた。地域教育コーディネーターは新潟県内の全小中学校に設置されている。その中で、地元歯科医師会、弥彦村立弥彦小学校、地域教育コーディネーター、在宅歯科衛生士とのネットワークを形成した。対象となる弥彦村内の 2 歯科診療所、弥彦小学校、および弥彦村教育委員会の了解を得た。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

新潟県弥彦村立弥彦小学校を対象に事業を実施し、地域教育コーディネーターとの連携の構築により地域ボランティアを確保した。地域教育コーディネーターは新潟県内の全ての小中学校に設置されている。ボランティアの方々に一気に様々な事業を実施していただくことは難しいので順次実施範囲を広げていきたい。さらに、本事業を実施し、弥彦村における支援ネットワークの構築はできた。また、今後同事業の他市町村への水平展開にも取り組んでいきたい。

